

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		農業集落排水施設維持管理事業			事業コード	0845
担当課等	所属名	上下水道局 下水道施設管理課		担当係名		
	課長名	上下水道局 下水道施設管理課	担当者名	藤田裕慈	電話番号	6507

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	健全な水環境・良好な水循環の創出	コード 6
	基本事業	汚水処理の充実	コード 1	関連予算 費目名	農業集落排水事業費特別会計 2款 1項 1目 農業集落排水施設管理事業(004-20)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 2年度～)					
事務事業の概要	農業用排水路の水質保全、機能維持、または農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するため整備された農業集落排水処理施設を、その機能が十分に発揮されるよう適切な維持管理を行うものである。					
根拠法令等	浄化槽法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
当市における農業用排水路の水質保全、機能維持、または農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するため農業集落排水処理施設の整備を進め、平成22年度から供用開始したことによる。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
既存施設の老朽化に伴う施設修繕費の増が確実であることから事業費の増は不可避である。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	農業集落排水施設 (1) 処理施設数 (2) 管路施設延長 (3) 流入汚水量	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 処理施設数(太田, 太田第二, 上飯岡, 下飯岡, 乙部, 乙部第二, 巻堀)	単位	ヶ所
				B. 管路施設延長	単位	km
				C. 流入汚水量	単位	m3
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 浄化槽法に基づく農業集落排水施設の保守点検、清掃、水質検査等の業務について、委託により定期的に行った。また、不具合の生じた設備機器について修繕を行った。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 浄化槽法に基づく農業集落排水施設の保守点検、清掃、水質検査等業務について、委託により定期的に実施する。また、不具合を把握している設備機器について修繕を実施するほか、突発的な故障等には迅速に対応する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 業務履行件数(委託件数、污泥汲取件数)	単位	件
				B. 修繕の件数	単位	件
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	良好な放流水質を維持するため、施設の適正な稼働と機能維持を図ることにより農業用排水の水質保全、農業生活環境の改善を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 施設稼働達成率(稼働日数/年間日数) 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	%
				B. 処理水排出基準達成率(水質基準達成回数/12回) 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	衛生的な水環境が確保される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	汚水処理人口普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)(単位: %)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	処理施設数(太田, 太田第二, 上飯岡, 下飯岡, 乙部, 乙部第二, 巻堀)	ヶ所	7	7	7	7	7	7	26年度 7
対象 指標B	管路施設延長	km	123	123	123	123	123	123	26年度 123
対象 指標C	流入汚水量	m ³	790,746	825,555	852,000	785,189	852,000	852,000	26年度 852,000
活動 指標A	業務履行件数(委託件数, 汚泥汲取件数)	件	39	39	39	39	39	39	26年度 39
活動 指標B	修繕の件数	件	9	10	10	10	10	10	26年度 10
活動 指標C									年度
成果 指標A	施設稼働達成率(稼働日数/年間日数)	%	100	100	100	100	100	100	26年度 100
成果 指標B	処理水排出基準達成率(水質基準達成回数/12回)	%	100	100	100	100	100	100	26年度 100
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	70,719	77,890	70,304	70,303	70,436	70,421	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	70,719	77,890	70,304	70,303	70,421	70,421	*****
	⑧その他(岩手県微量PCB汚染廃電気機器等把握支援事業費)	千円					15		*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	70,719	77,890	70,304	70,303	70,436	70,421	*****
	延べ業務時間数	時間	2,425	2,565	2,405	2,405	2,405	2,405	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	9,700	10,260	9,620	9,620	9,620	9,620	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	80,419	88,150	79,924	79,923	80,056	80,041	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 適切な維持管理により、施設の効果が十分に発揮され、農業用水の水質保全、農村生活環境の改善が図れる。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 維持管理事業は、施設の効果を十分に発揮し、当初の目的を達するため必要なものである。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 定期的な点検、整備、及び機器等の適切な更新を計画的に実施することにより、施設の長寿命化による長期的なコストダウン、確実な水質保全を図ることができる。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 維持管理事業を廃止した場合、直ちに施設機能を喪失し、そのことに伴い公共用水域の水質が急激に悪化するため、健全な環境の維持、良好な水循環創出が不可能となる。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 各事務事業には、その性質から多くの類似した内容があるが、それぞれ目的、対象、根拠法令が異なる事業であり、一元化が困難である。また、管理する施設が市内全域に点在しているため、スケールメリットが生じがたく、むしろ緊急時の対応に遅れを生じさせないことから、製靴工場が見込めないものと判断される。
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現状では、最低限度の水準での維持管理体制となっているほか、法令に基づく事務事業であること、経年劣化による設備機器の不具合発生が不可避であることから、事業費の削減は困難である。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 既存施設の老朽化に伴う維持管理事業の増が確実であることから、削減は困難である。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 受益機会は、計画に基づき定められた区域内で行われていることから適正である。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 費用の原資は条例で定められている使用料である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 計画的な施設修繕・更新計画を策定し、施設の長寿命化を図る等、成果向上のため有効性改善を行うべきである。 ②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 事業費, 人員とも十分に確保されていない状況下で、やむを得ず事後保全的な対応となる傾向がある。設備の更新を含む計画的な維持管理により施設の長寿命化を図ることが必要である。
---------	--

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り, 反省点) 定期的な保守点検等により適正な維持管理に努めた。また、施設の経年劣化による不具合には、計画的な整備, 改修, 修繕を推進し施設の長寿命化を図るとともに、必要な財源確保を図る必要がある。		
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 </td> <td> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> 方向付けの理由と改革改善の内容 保守管理計画を策定し、計画に基づいた維持管理を実施することにより管理水準を堅持するとともに、計画的な改築更新を行うことにより維持管理のトータルコストの削減を図る。		<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携			